

瀬戸内に建つ、400年の歴史

寺とも かわら版



徳成寺

とく じょう じ

第230号 2026年2月 発行責任者／住職・大山健児 坊守・大山ひとみ

お坊さんの処方箋・共感する力

いつもありがとうございます。住職の大山です。毎朝ハンバートハンバートの「笑ったり転んだり」を楽しみに聞いている方もいる事でしょう。

「毎日、難儀なことばかり 泣き疲れ眠るだけ そんなじゃダメだと怒ったり これでもいいかと思ったり」という歌詞で始まります。

若い頃は、さほど思いませんでしたが、還暦近くになると、ほんと難儀なことばかりです。そんなじゃダメだと怒ってみても、何ともならない事ばかり。これでもいいかと思う他ありません。

そんなごなたにもある日常を歌詞に込めて、フォークの曲調に載せて共感を呼んでいます。

昨年から当寺で始まった「まちのちいさな保健室」で参加者皆さんの近況に耳を傾けますと「一人暮らしになつても、きちんと食事をしたい」とか不整脈で病院に行ったら「加齢ですね」と取り合ってもらえなかったなど。身につまされる話題が満載でした。そんな声に共感ひとしおです。

「笑ったり転んだり」の二番の歌詞は「日に日に世界が悪くなる 気のせい か そうじゃない」です。戦後八十年過ぎて、喉元過ぎれば熱さを忘れたのかと思うような事ばかりです。選挙に行つて、少しでも共感できる方や政党に投票して参りましょう。

デジタルネイティブ 大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております、副住職です。昨年末、娘が2歳になりました。写真を遡つて見返すと顔つきが変わり手足が伸びて人間らしいフォルムになってきました。発話もちよつとずつできるようになり、すすすす育っている事に安心を覚える一方で、こんな事件がありました。私はゲーム機にクレジットカード情報を紐づけており、買おうと思つたらすぐ購入できるような設定にしていました。ある日、身に覚えのないカード利用の通知が届きました。内容はゲームソフトの購入。両親共に目を離していた時に娘が、ゲーム機でいたずらをした結果、紐付けしたクレジットカードから支払いされておりました。デジタル機器が生まれた時

から生活に溶け込んでいる世代をデジタルネイティブと言います。私もそうなので、子供の方が機械を達者に使うくらいの意味でしか捉えていなかったのですが、子供は大人の想像力を遥かに超えてくる、面白さ、ある種の畏怖がこの言葉には込められていたんだと思いました。同じくらしい年代の親御さんは支払いの認証方法を検討したほうがいいのかも少しありません。



事件後の様子
画面には犯行を示す「ありがとうございます」の文字